Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途

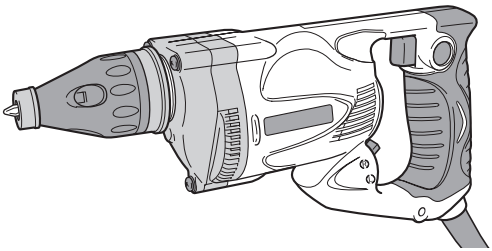
●ドライウォールねじの締付け

二重絶縁

日立ボード用ドライバ

4mm W 4SA2　　5mm W 5SA

このたびは日立ボード用ドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに

電動工具の安全上のご注意 ……1
二重絶縁について ……4
本製品の使用上のご注意 ……4
各部の名称 ……5
仕様 ……6

使い方

ご使用前の準備 ……6
ご使用前の確認 ……7
フックの取付け ……8
ビットの取はずし・取付け ……8
ねじを締める/はずす ……9

その他

カーボンブラシの交換 ……11
保守・点検 ……13
ご修理のときは……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 作業場は、 いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⚠警告

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠警告

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。

- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁をしてあり、銘板に二重絶縁を表す回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ボード用ドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

③ **使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。**
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

④ **使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。**
- けがの原因になります。

⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

① **工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **締付け深さの調整時は、スイッチを切ってください。**
- 回転させたまま締付け深さを調整すると、けがの原因になります。

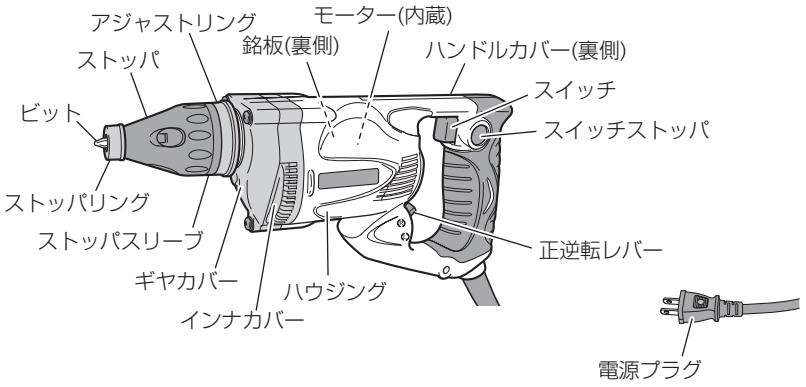
③ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

④ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



標 準 付 属 品

品名 ＼ 仕様	W 4SA2	W 5SA
プラスドライバビット (No. 2、ハードタイプ)	1本(本体装着)	1本(本体装着)
フック	1個	1個

仕　様

形　名	W 4SA2	W 5SA
能　力	4 mm	5 mm
無負荷回転数	6000 min^{-1} {6000 回／分}	4500 min^{-1} {4500 回／分}
使用電源	単相交流 50 ／ 60 Hz共用　電圧 100 V	
モータ	単相直巻整流子モーター	
全負荷電流	5.1 A	
消費電力	480 W	
質　量	1.1 kg（コードを除く）	
プラスビット長さ	45 mm	
コード	2 心キャブタイヤコード 20 m	

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長（継ぎ）コードを使う場合

⚠警告

延長（継ぎ）コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm^2）	最大の長さ（m）
1.25	10
2	25
3.5	45

ご使用前の確認

⚠警告

ご使用前に次のことを確認してください。「コンセントの確認」以外は電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●スイッチの確認

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

スイッチは引くと入り、はなすと切れますので、スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

●締付けねじの確認

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

⚠注意

ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。

大きな負担がかかり、ねじの破損や機体の故障の原因になります。

●ドライバビットの確認

この機体には標準付属品としてプラスドライバビット（Ｎｏ.２、ハードタイプ）が組込まれております。

ビットの損傷により交換する場合は、P8 の「ビットの取りはずし・取付け」を参照し、ビットを交換してください。

注 ねじに合ったビットを使用してください。

ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

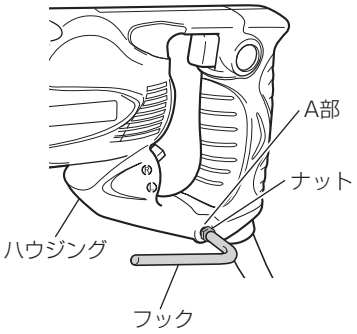
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

フックの取付け

フックをA部の穴にさし込み、時計方向に回します。ナットがハウジングの座面についたらお手持ちのスパナでしっかり締付けてください。

フックは反対側にも取付けることができます。同じ手順で取付けてください。

フックは腰ベルト、または最大径 28 mmまでのパイプなどに掛けることができます。



ビットの取りはずし・取付け

⚠注意

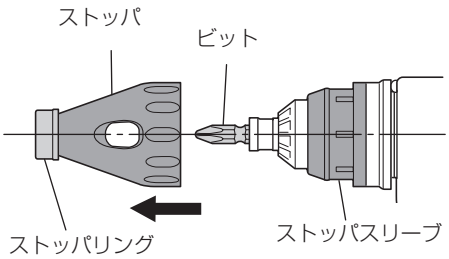
万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 **新品と交換の際は、必ず日立プラスビットを使用してください。**
日立プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

取りはずし

ストッパスリーブを手でしっかりと押さえ、ストッパを矢印方向に引き、ストッパスリーブから取りはずします。

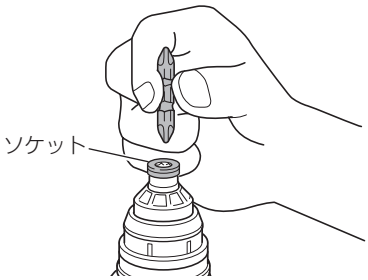
ビットの先をペンチなどで引抜いてください。



取付け

ビットをソケットの穴に合わせて十分に押し込みます。

ビットを取付けましたら、ストッパスリーブを手でしっかりと押さえ、ストッパをストッパスリーブに取付けます。



ねじを締める/はずす

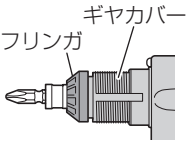
ドライウォールねじの
締付け、取りはずし

⚠警告

- 万一の事故を防止するため、電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
- 使用中は軍手などまきこまれる恐れのある手袋を使用しないでください。
  ねじや、ビットなどに巻き込まれ、けがの原因になります。
- スイッチが入っている状態で、ねじをビットに合わせるとき、ビットを本体方向に押し込まないでください。
  ビットが回転し、けがの原因になります。

⚠注意

- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビットは高温になっているので触れないでください。
- フリンガをはずして使用しないでください。
  ギヤカバー内に粉じんが入り込み、機体の故障の原因になります。



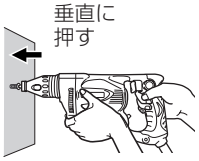
- 逆回転で長い時間の連続運転はしないでください。
  故障の原因になります。

注 運転中は正逆転レバーの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

締める

1 回転方向を正転（R）に合わせる
（P10「正逆転レバーについて」参照）

2 ねじを締める



- ●ねじの十字穴に正しくビットをはめ、取付面にねじの先端を当てて、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。
  または、スイッチを引きながら、垂直に押し付けます。
- ●締め終わりましたら、押し付け力をゆるめるとビットの回転が止まります。

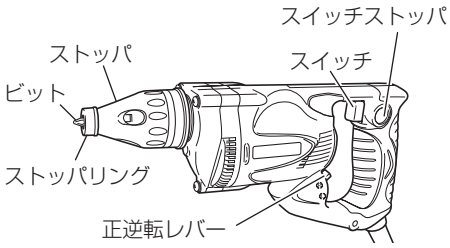
（P10「スイッチについて」参照）

はずす

1 回転方向を逆転（L）に合わせる

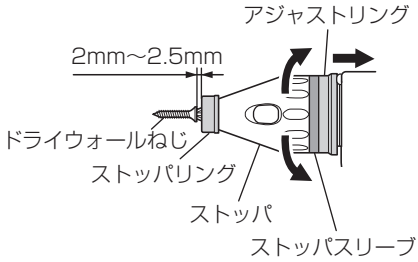
2 ねじをはずす

- ●ねじの十字穴に正しくビットをはめて、スイッチを引きます。
- ●ビットがねじの十字穴に入りにくいときはストッパをはずして、作業をしてください。



●締付け深さの調整

（1）ビットにドライウォールねじの十字穴を正しく入れアジャストリングを矢印方向に引きます。
（2）ストッパスリーブを回して、ストッパリングとねじ頭との距離が2mm～2.5mmになるように、調整します。
（3）数本試し締めし、ちょうどよい距離に微調整してください。

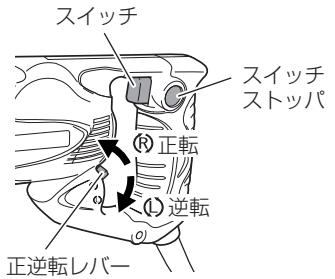


注 ストッパの先端に装着してあるストッパリングは、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際にご使用ください。石こうボード表面の損傷防止に効果があります。

●正逆転レバーについて

正逆転レバーを〔R〕側に倒すとビットはハンドル側から見て右に回り(正転)、〔L〕側に倒すと左に回ります(逆転)。

注 回転方向を変えるときは、必ずスイッチを切ってモーターの回転が止まってから、正逆転レバーを操作してください。
スイッチを切らずに正逆転レバーを切替えると、故障の原因になります。



●スイッチについて

正逆転レバーが正転〔R〕の場合

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。ビットの先端をねじ頭部の溝に当て、押しつけると、ビットが回転してねじを締めます。

正逆転レバーが逆転〔L〕の場合

スイッチを引くだけでビットの先端をねじ頭部の溝に当て押しつけなくても、ビットが回転します。

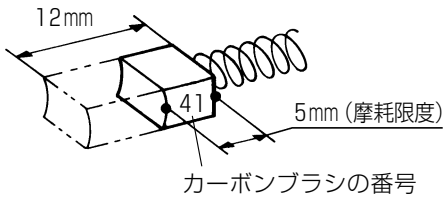
スイッチストッパについて

スイッチを引いてからスイッチストッパを押すと、スイッチをはなしても固定され連続運転になります。
停止させるときは、もう一度スイッチを引いてからはなしますと連続運転が解除されます。

カーボンブラシの交換

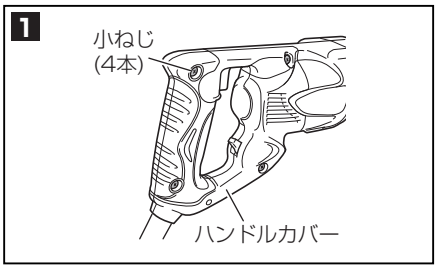
モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（5 mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は必ず図示の番号（41）の日立カーボンブラシをご使用ください。



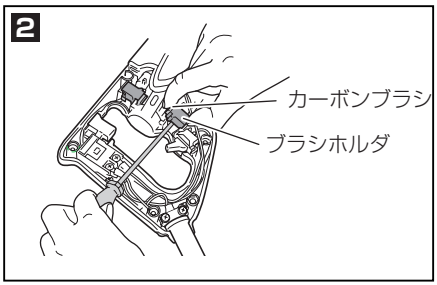
取りはずし方

1 ハンドルカバーを締付けている小ねじ（4本）をお手持ちのプラスドライバーでゆるめ、ハンドルカバーをはずします。

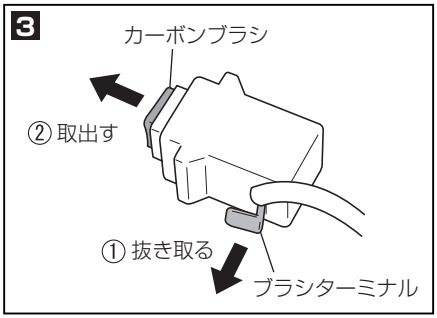


2 ブラシホルダをドライバーの先などで持上げ、カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングから取出します。

注 リード線を伸ばしたり、傷をつけないよう十分注意してください。



3 ①ブラシターミナルをブラシホルダから抜き取ります。
②カーボンブラシをブラシホルダから取出します。



⚠警告

カーボンブラシを交換して組立てる場合は、必ず下記の組立方法に従ってください。万一、内部配線類が回転子（アマチュア）に接触していたり、ハンドルカバーでかみ込んでいるような場合は、感電の恐れがあるので十分注意してください。

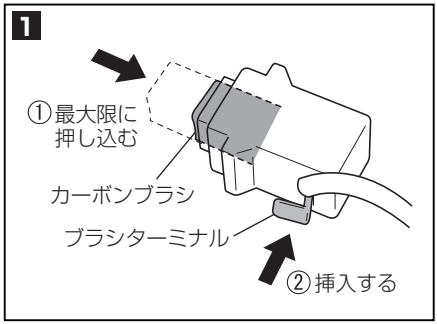
⚠注意

カーボンブラシを交換する際は、交換に必要な部品以外には触れないでください。

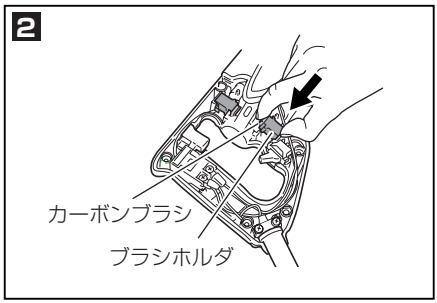
取付け方

1 ①カーボンブラシをブラシホルダの中に入れます。

②カーボンブラシを最大限に押し込んだ状態でブラシターミナルを挿入します。



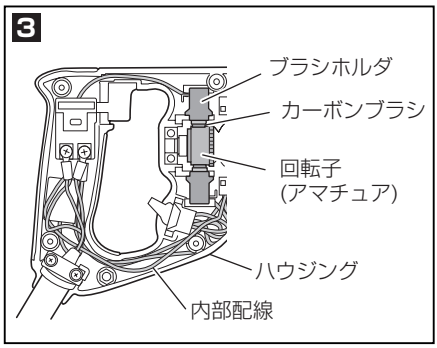
2 カーボンブラシを押さえながらブラシホルダをハウジングに挿入します。



3 内部配線類が正規の位置にあること、また内部配線類が回転子（アマチュア）に接触する危険がないことを十分確認してください。

注 **リード線を伸ばしたり、傷をつけないよう十分注意してください。**

4 内部配線類がハウジングとの間にかみ込まれないよう十分注意してハンドルカバーをかぶせ、小ねじを締付けてください。



注
- **小ねじを必要以上に締付けないでください。**
- **新品交換後の運転でカーボンブラシから臭いが出ますが、故障ではありません。5 分間ほど無負荷運転をすることによって、臭いは少なくなります。**

保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体や付属品の保管

使用しない機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注 ○お子様の手が届いたり、持ち出せる場所には保管しない。
○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
○温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●取付けねじの点検

機体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

メ　　モ

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店　TEL (011) 271−4751 (代)　〒060−0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1(日本生命札幌ビル)
東北支店　TEL (022) 288−8676 (代)　〒984−0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
東京支店　TEL (03) 5812−6331 (代)　〒110−0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店　TEL (052) 262−3811 (代)　〒460−0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
北陸支店　TEL (076) 263−4311 (代)　〒920−0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店　TEL (06) 4796−8451 (代)　〒530−0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号(スノークリスタル)
中国支店　TEL (082) 228−0537 (代)　〒730−0011 広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)
四国支店　TEL (087) 863−6761 (代)　〒760−0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店　TEL (092) 621−5772 (代)　〒813−0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社
〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

801
部品コード　C99170902 N